

## ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：安芸太田町

### 1 要旨

安芸太田町の森づくり事業(交付金事業)を実施するにあたり、「ひろしまの森づくり事業に関する推進方針」を踏まえ、安芸太田町の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に推進方法に沿って、森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取り組みを行うこととする。

### 2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	里山林の手入れ不足や竹林化により森林景観が悪化している。	里山林の手入れ不足や竹林化により、景観の悪化が生じており、景観改善のための里山林整備が課題となっている。	森林整備により健全な自然景観をつくる里山林とする。	景観の改善が必要な地域において、美しい森林景観を取り戻す森林整備を行う。
防災・減災林 (特認含む)	里山林の手入れ不足により災害の危険性が高い地域がある。	土砂災害等の危険性のある里山林において、防災・減災のための森林整備等が課題となっている。	土砂災害等の危険性のある里山林において、地域住民が一体となった森林整備等により、防災・減災の機能を持つ里山林とする。	土砂災害等の災害の危険性のある里山林において、地域住民が一体となった森林整備を行う。
地域資源活用型 (特認含む)	地域の資源である森林風景の悪化や地域住民活動の活性化が必要である。	地域の森林風景の改善と地域住民による森林整備の支援が必要となっている。	地域の森林風景の改善と維持のため、継続的に地域住民が行い整備する美しい里山林とする。	守るべき地域の森林風景について、地域住民が主体となり整備し、その組織を継続させていくための支援を行う。
環境緑化・保全型				
鳥獣被害防止型	イノシシやシカなどの野生生物が人里近くまで活動範囲を広げ、鳥獣被害が拡大している。	イノシシやシカなどによる鳥獣被害が拡大しているため、里山に侵入しにくい環境整備が課題となっている。	イノシシやシカなどが人里近くまで生息範囲を広げており、野生生物との棲み分けのために、一定の緩衝機能を持った里山林に整備し、鳥獣被害の防止を図る。	鳥獣被害が著しい地域において、バッファゾーンとしての森林整備とその他の対策を一体的に取り組むとともに、持続的な管理が見込まれる地域から重点的に森林整備を行う。

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

### 3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容	
<p>森林を守り育てる体制</p>	<p>森林整備を行う者 (森林ボランティア団体) (住民団体等) (小規模林業経営者) ※主体別に記入</p> <p>森林整備を助ける体制(森林資源の継続的利用)</p>	<p>(住民団体等) ・森づくり事業を活用する住民団体等は財政基盤等が弱いため、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望が多い。</p> <p>(小規模林業経営者) ・木材価格低迷による林業経営の悪化から、管理不足の森林が増加しており、林業事業体のほか、森林所有者等が行う自伐林業の推進による林業の経営の在り方について検討が必要となっている。</p> <p>・搬出されない林地残材を有効活用し、森林の多面的機能の維持発揮の他、中山間地域の活性化等が期待されている。</p>	<p>・一定程度の広さの活動ができる住民団体等が存在し、自主収入と会費で運営されながら、森づくり事業を活用し、森林保全活動を継続し地域の活性化に貢献している。</p> <p>・自伐林業を推進することにより、地域住民自らが地域の森林は守り伝えるという意識のもと新たな里山産業の創出に向けて環境を整えていく。</p> <p>・森林内の林地残材を搬出できる人材を育成し、林地残材の有効活用による地域経済の活性化を図る。</p>	<p>・里山保全活用支援事業や森林・林業体験活動支援事業を活用し、ボランティア団体、住民団体の活動維持と組織の活性化を図る。</p> <p>・自伐林業に取り組む森林所有者等に指導者の派遣や、搬出に必要な機材の貸出等の支援を行い、小規模林業経営者の育成を図る。</p> <p>・林地残材の搬出を指導できる体制整備(指導者の派遣等)</p>
<p>取組への理解促進</p>	<p>住民への説明</p> <p>参加拡大による理解促進</p> <p>事業の理解</p>	<p>・ひろしまの森づくり県民税による事業が、どのように展開され、どのような効果に資しているか周知が不足している。</p> <p>・住民団体等が森林整備などの体験と学習する機会の情報発信が十分でない。</p> <p>・森づくりに参加する町民の人数を増加させるとともに、「森づくりに参加している」という意識の醸成を図る必要がある。</p>	<p>・町民が森づくり県民税の使途や効果、実績を理解把握している。</p> <p>・森林・林業に対するイベントや情報を適期に提供できる。</p> <p>・多くの町民が森づくりに参加し、自らが参加しているという意識を醸成する。</p>	<p>・町広報誌を活用し、事業の実績や効果を町民に広く発信する。</p> <p>・町広報誌を活用し、事業の実績や効果を町民に広く発信し、事業に対する理解と情報提供をに進める。</p> <p>・町広報誌を活用し、事業の実績や効果を町民に広く発信し、事業に対する理解度を上げていく。</p>